

認め愛 支え愛 助け愛



のある国 伊豆の国市

一住み慣れた地域で安心して暮らすためにー

市役所保健福祉・こども・子育て相談センター
☎ 0558-76-8010

第四章

「生活支援」と「支え合い」

市では、住民一人ひとりが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、今あるさまざまな生活支援サービスを整理し、市民の皆さんへ提供できる体制を整えています。また、地域に不足する社会資源の解消に努め、住民本位の生活支援サービスの充実を図り、特に支え合いを中心とした地域づくりを推進しています。

生活支援にかかる市の取り組み

■生活支援コーディネーターの設置

何をする人なの？



- ・地域に不足しているサービスを見つけたり考えたりします。
- ・地域の人や事業所と協力して、不足する生活支援サービスをつくっていきます。
- ・今あるサービスや新しくつくったサービスと、困っている地域の人をつなぎます。



■協議体の設置

何をするところなの？



- ・地域に不足するサービスをいろいろな立場の人が集まって考える会議の場です。
- ・目的は「情報を共有すること」「連携を強化すること」「協働してサービスをつくっていくこと」です。

※市では、「地域づくり会議」と称して、生活支援に関する勉強会を定期的に開催しています。この会議には、福祉関係事業所の職員や自治会関係者などが参加しています。



■社会資源集の作成

「介護保険サービスを利用するほどではないけど、ちよつと家事を手伝ってほしい」「食事を届けてほしい」など、生活のしづらさを感じることはありませんか。そんな「ちよつと困った」を解消するための情報冊子です。

※掲載情報は、介護保険などの公的なサービスではなく、自己負担がある有償サービスが中心です。



広がっています 地域の「居場所」

皆さんは「居場所」といわれるものを聞いたことがありますか。次のページでは、市内の「居場所」を紹介します。

今こそ支え合いの 地域づくりを

「生活支援サービス」と「支え合いの地域づくり」は大きなテーマですが、一つひとつの取り組みの積み重ねによって創られていきます。そして、その主役は、地域に住んでいる皆さんです。

少子高齢化や家族、地域形態などが変化し、相互扶助（お互いさま）という意識が薄れ、社会からの孤立や孤独死の危険性なども高まっています。「いま一度、地域でのつながり・支え合いを考え直してみても」、市内でもそのことに気付き、行動を起こす人が多く生まれています。

市民の皆さんも、まずは地域の中であいさつを交わすことや、近所の人や元気に生活しているか「気にかける」こと、ちよつと心配な人を見守ることから始めてみませんか。それが、新しい地域の「支え合い」のきっかけになるかもしれません。

次回(第五章(1月号))では、**地域包括支援センター**を紹介합니다。

1. プレーグおおひと

2. 毎週水曜日 10:00～12:00

施設の地域交流室を開放して第1・3水曜日は体操やレクリエーション、第2・4・5水曜日はカラオケ（通称：マイクの会）を実施。年齢や介護状態、地区などに制限はなく、誰でも参加できる。

3. 「おしゃべり会」という名称で平成27年9月スタート。

4. 施設内の地域交流室を地域へ開放することが目的で、おしゃべりでも趣味活動でも相談ごとでも、何に利用してもいいというスタンス。

5. 楽しみが見つかった。また、通うことが楽しみになった。

夫婦で通うことができ、ここで知り合った人同士のつながりができた。



6. プレーグおおひととしては、開放している地域交流室をいろいろな人に自由に使ってもらいたい。参加者自らやりたいことを企画したり準備したりできるといいが、何よりここに来ることが楽しみという人が増えてくれるとうれしい。



1. 多田区公民館 旧管理棟 通称：居場所 わいわい亭

2. 毎月第2・4土曜日 13:30～16:00

地域の人に利用してもらうほか、児童発達支援センター「きららか」の臨時休息場所として月に2,3回開放。また、シニアクラブや多田レディース花の会などの地域活動でも活用し、広いテラスは遊具で遊ぶ子どもたちの見守り場所となっている。

3. 平成27年5月ごろから準備し、11月ごろ活動をスタート。

4. 地域福祉の拠点となる場所として公民館北側の旧管理棟の活用が適すると判断。地域のボランティアの協力のもとにリフォームを行った。



5. 来ると世間話ができて家にいるより楽しい。地域の情報も知ることができる。趣味やグループ活動を通じていろいろな交流や情報交換ができる。

6. 支え合いの地域のため、いろいろなところが関わって、地域や行政で情報交換できるようにしていければいい。男性の参加者も増えてほしい。



「居場所を利用してみたい」「他の居場所についても知りたい」という人は、市役所保健福祉・こども・子育て相談センターまで問い合わせください。